



落葉樹の葉がまだ出ていない3～4月は、カラスの巣づくりの季節です。そこで今回は、カラスの巣に注目してみます。テーマはハシボソガラスとハシブトガラスの巣場所の違いです。

●大阪のハシブトガラスの都市への進出

1970年代まで、大阪の市街地で繁殖するカラスは、ハシボソガラス（以下、ボソ）だけでした。当時、ハシブトガラス（以下、ブト）は山のカラスでした。ところが1980年代以降、ブトが街中で見られるようになり、今では大阪市内にはブトの方が多くなっています。

市街地にブトが進出してきた結果、大阪の市街地周辺では、ボソとブトが入り交じって繁殖するようになっています。都心部にブトばかりいる東京は例外ですが、日本の多くの市街地周辺では、ボソとブトが入り交じって繁殖しています。となると、両者の巣場所にどんな違いがあるかが気になります。

●カラス2種の巣場所の違い

同じ地域に生息するボソとブトの巣場所の比較研究は、北海道、東京都、大阪府高槻市と各地で行われています。

玉田・藤巻（1993）は、北海道帯広市周辺でボソ37巣とブト8巣を調べました。巣はすべて樹木上で、ボソは常緑針葉樹も落葉広葉樹も同じように使っていたのに対して、ブトは常緑針葉樹を使う傾向がありました。巣の高さはブトの方がボソよりも有意に高く、ボソの巣は孤立木よりも緑地や街路樹に多くありました。

中村（2000）は、大阪府高槻市でボソ224巣とブト37巣を調べました。ボソの巣場所は、常緑樹53%、落葉樹25%、人工物23%。ブトの巣場所は、常緑樹92%、落葉樹3%、人工物5%でした。樹木営巣だけを比べると、巣の高さはブトの方がボソよりも有意に高い傾向がありました。巣の周辺環境は、ボソでは農耕地が多いのに対して、ブトは緑地の割合が高いという結果になりました。

黒沢・松田（2003）は、東京都内7ヶ所でボソ15巣（つがい）とブト61巣（つがい）を調べました。ボソの巣場所は、常緑針葉樹47%、落葉広葉樹33%、落葉針葉樹13%、人工物1巣。ブトの巣場所は、常緑針葉樹36%、常緑広葉樹7%、落葉広葉樹53%、人工物1巣でした。巣の高さは、ブトの方がボソより低い傾向がありましたが、有意差はありません（黒沢ほか2004）。

黒沢ほか（2004）は、北海道札幌市でボソ9巣（つがい）とブト34巣（つがい）を調べました。巣の高さはブトの方がボソよりも有意に高い傾向がありました。

●ハシブトガラスの市街地への進出と巣場所

ボソとブトの巣場所に見られる傾向を1980年代におけ



図1：ハシボソガラス(左)とハシブトガラス(右)（納家 仁）。



図2：ハシブトガラスの巣（納家 仁）。

る大阪の市街地へのブトの進出と結びつけて考えると、どうなるでしょう？

有意差のなかった東京都を除く3地域では、ブトの方がボソよりも高い位置で営巣していました。また、巣の周辺環境を丁寧に調べた中村（2000）によると、ボソが周囲に樹木が少ない場所でも営巣するのに対して、ブトは周囲に樹木が多い緑地を選んでいるようです。

もしブトの生息場所選択が、好ましい巣場所の分布に基づいているとするなら、市街地周辺の緑地面積が増え、樹木が成長した事が、大阪でのブトの市街地周辺につながったのかもしれませんが。

営巣木についてみると、北海道帯広市や大阪府高槻市では、ブトは明らかに常緑樹をよく使っています。営巣木については、なわばり内で利用可能な樹種が何だったかの検討ぬきに結論を出すわけにはいきません。しかし、市街地周辺に植栽されている樹種の変化もまた、ブトの市街地への進出に影響を与える可能性があります。

●野外で実際に観察してみよう

カラス2種の巣場所の好みの違いは、都市への進出、両種の共存などを考える上で、重要な意味を持つ可能性があります。しかしまだまだ調べることがありそうです。

3～4月頃、上を見て歩いてみましょう。大阪の市街地で木の上に大きな巣をかける鳥は、ほぼカラスしかいません。またこの時期なら巣の持ち主のカラス自身がウロウロしているので、ボソの巣かブトの巣かもすぐに分かります。どんな場所にどっちのカラスが巣をつくっていますか？巣を見つけることから、カラスに興味を持って、カラスと仲良くしてもらえればと思っています。

●引用文献

黒沢令子・松尾太郎・徳永珠未・小林和也・佐藤瑛子（2004）大都市の緑地におけるカラス類の繁殖状況－札幌市北海道大学近辺と東京の比較－. Strix, 22: 109-116.

黒沢令子・松田道生（2003）東京におけるカラス類の繁殖状況. Strix, 21: 167-176.

中村純夫（2000）高槻市におけるカラス2種の営巣環境の比較. 日本鳥学会誌, 49: 39-50.

玉田克巳・藤巻裕蔵（1993）帯広市とその周辺におけるハシボソガラスとハシブトガラスの繁殖生態. 日本鳥学会誌, 42: 9-20.

和田 岳（わだ たけし）：本会幹事、大阪市立自然史博物館学芸員。HP「和田の鳥小屋」

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/wada/wada-index.html>